

大雪ボランティア養成セミナー

【期日】 2025/5/31 ～ 2025/6/1
 【対象者】 高校生、大学生、専門学校生、社会人
 【参加人数／募集人数】 12 / 40



1. 趣旨

青少年の体験活動を支援するボランティアに求められる知識・技能を習得するとともに、ボランティア活動に積極的に取り組む意欲を高める。

2. プログラム内容

【1日目】

11:15 11:30		12:30 13:30		15:00 15:30		18:30 19:00		20:00		21:00	
11:00	開講式	講義① 交流の家について	昼食	講義② 青少年教育について	準備	活動① 野外炊事	準備	説明① ボランティアについて	活動② キャンプファイヤー	入浴 就寝準備	

【2日目】

	7:30	9:00	12:00	13:00	14:30	15:30	15:45
6:30	起床	つどい 朝食	活動③ 安全管理 (救急救命講習)	昼食	講義③ ボランティア活動の意義	説明② ボランティア登録について	閉講式

3. 活動内容

①青少年教育施設の現状と運営

国立青少年教育振興機構や大雪青少年交流の家の教育機能や役割、運営について次長が講義を行った。



②青少年教育について

札幌市生涯学習振興財団理事の佐久間章氏が講師となり、ご自身の経験や活動の紹介を通して、体験活動の必要性などについて講義を行った。



③ボランティア活動の技術「野外炊飯」

グループに分かれてカレーライスを作った。活動を通してボランティアとして野外炊事を提供する方法や注意点などについて学んだ。参加者同士の交流も深めることができた。



④青少年教育施設におけるボランティア活動／ボランティア活動の技術「キャンプファイヤー」

ボランティアの役割や、求めるボランティア像についての説明を行った。実際のキャンプファイヤーを体験し、ボランティアが進行する姿を見て進行方法などを学んだ。



⑤安全管理「普通救急講習」

美瑛消防署の職員３名が講師となり、講義や演習を通して応急手当などの救命救急に必要な知識や技術を学んだ。



⑥ボランティア活動の意義／ボランティア登録について

先輩ボランティアとの交流を通してボランティア活動の意義や心構えを学んだ。機構でボランティアとして活動するための手続きを行った。



4. アンケート結果

質問：事業全体に対しての満足度をお答えください。（人）

たいへん満足	やや満足	やや不満	たいへん不満
8	3	1	0

5. 参加者の声

- ・ボランティアという活動は、いろいろな人と関わることができると思いました。
- ・今までの概念を覆された気分（いい意味で）
- ・忙しいとは思いましたが、いろいろ学ぶことができいい機会だなと感じました。
- ・学生ボランティアの方の指導力の高さやプレゼン能力の高さに驚き、主体的な活動への参加や、体験活動の企画運営の組がこのような能力を育むのだと実感できました。
- ・今回のセミナーに参加し、より教育事業に対するボランティアの興味が高まった。もともと子どもと話したりするのが好きなのもあり、都合が合えば今後の活動にも参加したいと思う
- ・救命講習はいつか使うかもしれないから、ためになった

6. 事業の成果

- ・先輩ボランティアが担当するプログラムを用意することで、参加者が活動の中身や企画の際に考慮するポイントを意識しやすかった。
- ・先輩ボランティアの経験を語る場を設けることで、ボランティア活動に対しての興味が高まり、活動の結果得られる経験に魅力を感じてもらえた。
- ・広報が弱く参加者数が振るわなかったことと、学校のカリキュラムの一環で参加した学生が多かったことから、参加者のボランティア活動に対してのモチベーションにばらつきがあった。しかし、活動を通じて興味を深めることにつながった。